

# (仮称) 堺市南区基本計画 (計画期間: 令和3年度～令和7年度) 【概要版】(案)

## 1 堺市南区基本計画について

- 人口減少・高齢化、自然災害の発生、新たな感染症出現等による社会情勢の変化や新しい生活様式への移行、地域課題の解決に向け、最先端の技術などを活用した新たな取組が求められている。
- 区民が将来に希望をもち、これからもこの地域で住み続けたいと願えるよう、今後の南区の将来像と大きな方向性を定める。区民と南区行政の共通の目標であり、区政運営の基本方針を示す。
- 「次期堺市基本計画」、「堺グランドデザイン 2040」、その他本市関連計画を踏まえて策定する。あわせて、「持続可能な開発目標 (SDGs)」の達成をめざす。また、市議会、南区区民評議会、市民の意見や南区まちづくりビジョンの総括などを反映する。

## 2 南区の現状・課題



- 【概況】**
- 計画的市街地（泉北ニュータウン）と農地、集落地、丘陵地などで形成
  - 泉北高速鉄道 3 駅、大阪府道 208 号 堺泉北環状線による交通網が整備
  - 泉ヶ丘エリアにおける大学・病院等開設などの新しい動き
  - 人口減少・高齢化
  - 施設の老朽化
  - 豊かな緑空間（樹木、農地、緑道など）
  - 歴史文化（国宝桜井神社拝殿、須恵器窯跡、こおどりなど）
- 【特徴】**



## 3 「南区まちづくりビジョン」の総括

- 「南区まちづくりビジョン」(平成 20 年度策定、平成 28 年度改定)について、概ね成果は確認できた。
- 子育てや福祉などの施策の充実、次世代リーダーの育成などによる地域力の強化、南区の地域情報、施策、魅力などの積極的な発信が課題である。

## 4 堺市南区基本計画の内容

- 南区では、未来型の区役所=「スマート区役所」を掲げ、ICT 等の最先端技術などを活用した生活の質の向上や地域課題の解決に向けた新たな取組を進めている。あわせて、すべての人にとってやさしい空間の創造ときめ細かな相談体制の充実を推進していく。このことから、計画の副題を「みなみスマートビジョン」とし、区民の生活の質の向上を目的として、「人」を中心、「区民」が主役である計画を策定する。
- 将来像は「自然とふれあい、人ととのつながりを大切にする都市」とし、南区の魅力である豊かな自然と最先端技術等を活用した多様な都市機能が融合し、21世紀型の田園都市の形成をめざすことをイメージした「～豊かな緑空間と多様な都市機能が融合した「田園新都市」をめざして～」を副題とする。
- 基本方針と重点施策に加え、「フラッグシップモデル（基本方針の実現に向け、今後事業創出にあたって道標となる象徴的な取組の方向性を示すもの）」を設定する。

名 称

## 堺市南区基本計画 ～みなみスマートビジョン～

将來像

### 自然とふれあい、人ととのつながりを大切にする都市

～豊かな緑空間と多様な都市機能が融合した「田園新都市」をめざして～

#### 基本方針

##### 1 ひとが絆を結び、安全・安心で

##### 快適に暮らすことができる都市



#### 重点施策

##### 地域コミュニティの活性化

##### 災害に強く安心して快適に暮らせる都市環境の形成

#### 人権・多様性の尊重

#### 2 ひとがいきいきと輝き、

##### 健やかに成長することができる都市



#### 3 ひとが未来へと紡ぎ、

##### 魅力と誇りを育むことができる都市



#### フラッグシップモデル

- 区域の災害特性や感染症対策を踏まえた「あたらしい避難所」の構築
- 緑道等における公設防犯灯の戦略的な整備
- 次世代の地域人材育成システムの創設

#### 最終目標 (KGI)

##### ○南区人口の社会増（転入者－転出者）

人口減少が今後も見込まれる中、安全で快適な都市環境の整備や、すべての方が安心して健康に暮らすことができる社会の推進により、南区の人口減少をくい止め、人口定着及び流入をめざす。

【現状値: △1,854 人 → 目標: 増加】

資料: 平成 31 年/令和元年住民基本台帳（外国人住民を含む）

##### ○南区合計特殊出生率※の増加

※15～49 歳までの女性の年齢別出生率を合計したもの  
子育て・学びなどの支援により、親が安心して子どもを生み育てることのできる環境の充実をめざす。

【現状値: 1.28 → 目標: 増加】

資料: 厚生労働省 人口動態保健所・市区町村別統計（平成 25 年～平成 29 年）

##### ○区内 3 駅※乗降者数の維持

※泉北高速鉄道泉ヶ丘駅、梅・美木多駅、光明池駅  
南区における魅力の戦略的発信や最新技術を活用した新たな取組により、区内外の多くの人を引きつけ、乗降者数減少から維持傾向への転換をめざす。

【現状値: 90,131 人 → 目標: 維持】

資料: 泉北高速鉄道株式会社ホームページ「駅別乗降客数」